

○農業用水施設を基幹とした集落農業の維持

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	うわじまし おおうら 愛媛県宇和島市 大浦			
協定面積 37.5ha	田	畑 (100%) 柑橘	草地	採草放牧地
交付金額 431万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		4%
		水路・農道管理費		3%
		景観作物作付け費		2%
		共同防除費		31%
		用水組合等助成金		9%
		その他事務費		1%
協定参加者	農業者 35人、大浦用水組合			開始：平成14年度
人・農地プランの作成状況	作成していない			

2. 取組に至る経緯

大浦集落は旧吉田町と旧宇和島市との境界に位置する海と山に挟まれた地域にあり、山の斜面に柑橘類を中心とした農地が広がっている。近年の柑橘農産物の価格低迷による農業所得の減少から兼業農家の割合が増加し、農業後継者の多くが平日は他産業に従事し休日に農業を手伝っている状況にあり、労働力の不足や生産物の品質維持が困難になることが懸念されていた。

このような状況の中、省労力化を支える地域の農業用水施設の維持管理、耕作放棄地の防止、水路・農道の適正な管理等を目的として平成14年度より中山間地域等直接支払制度に取り組み、これまでに農業用水施設等の共同管理、獣害防止用の電気柵の設置、共同防除や共同灌水等を実施してきた。

3. 取組の内容

- 高糖度品種への改植や被覆資材を用いた高付加価値農業の実践。
- 隔年結果防止のため、樹幹上部摘果等による生産収量安定化。
- 品質の維持向上・均一化のため、農業用水施設による共同防除・灌水を実施。
- 地域の公共施設に景観作物を作付け。
- 水路・農道の補修管理の他、災害時には住宅地への二次災害を防止するため農道の応急修理を実施。



【集落の様子】



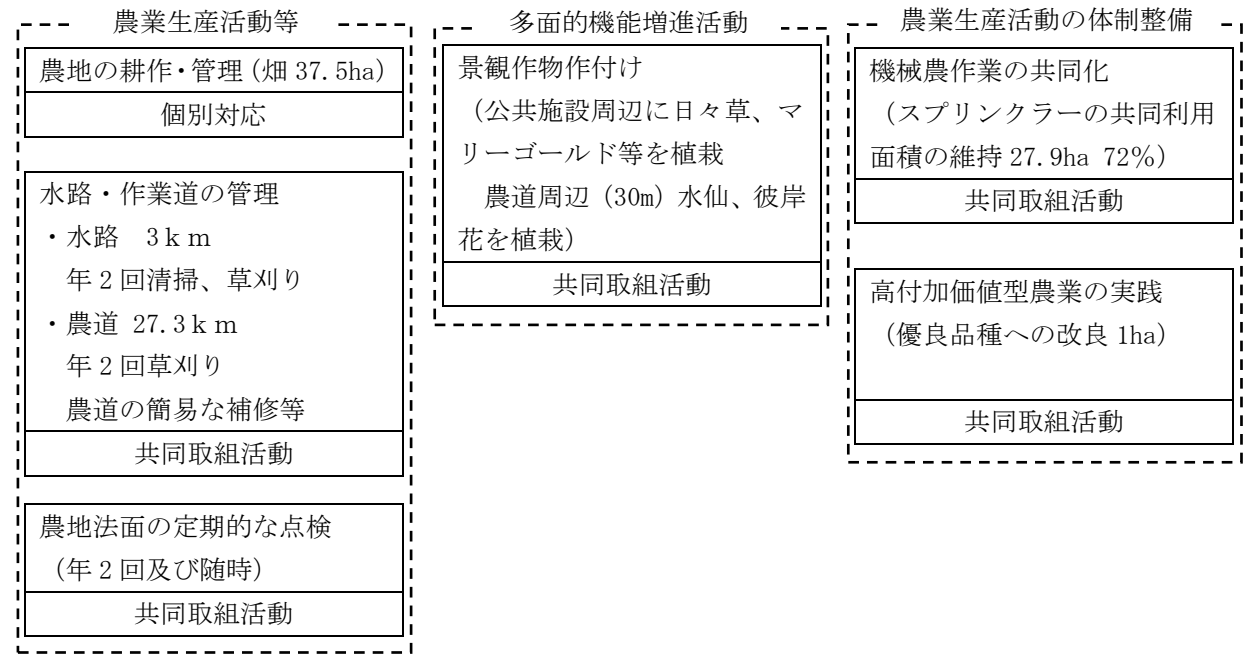
【被災した農道の応急修理】

【集落の将来像】

○農家戸数の維持、耕作放棄・荒廃農地の発生を防止するとともに、自治会・愛護会等を介して非農家住民を含む住民交流を進め、地域全体で行う活動に参加する機会を増やすことで集落協定や集落作り活動への理解を深めてもらい、集落機能を維持していく。

【将来像を実現するための活動目標】

○農業用水受益地の耕作放棄防止を集落の重点課題として取り組み、施設の維持管理と農用地を確保していく。また、地域住民の散歩道となっている農道や公共施設周辺に景観作物を作付け、地域の環境美化推進を図る。



集落外との連携

○鳥獣害防止対策において、カラス等の駆除を猟友会と連携して行う。

4. 今後の課題等

本制度を活用した農道・水路及び農業用水施設の維持管理は、集落の農業生産活動の継続に必要不可欠であり、今後も継続して実施していく。

また、深刻化する担い手・後継者不足を解消するためには、農家の跡継ぎだけでなく、他産業を退職した非農家も含めて農業へ引き込んでいくことが重要である。そのために、農繁期に限らず普段の農地の管理等にも従事してもらったり、興味のある人がスムーズに農業体験できたりするような仕組み作りに、協定としても取り組んでいきたい。

【第2期対策の主な成果】

- 鳥獣害防止電気柵の設置 (3,000m)
- 地域住民の散歩道となっている農道周辺への景観作物の作付け (50m)
- 柑橘類の優良品種への改植 (1ha)
- 柑橘類の隔年結果防止の剪定方法の普及 (年2回の講習会を実施)